

## 重点施策 10 親しむ視聴覚教育の拡充と推進

### 【施策方針】

学校教育、社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、視聴覚の円滑な利用促進を図る。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成
- ② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成

「出前映画講座」は、コロナウイルス感染対策により利用が少なく、5団体で延べ5回93人（令和3年度は5施設 延べ132名 前年比46%）が視聴した。

愛媛県メディア教育協会が実施している教育機器実技研修会、愛媛県メディア教育研究大会に参加し、指導者としての資質向上を図った。

また、愛媛県自作視聴覚教材・作品コンテストなどの研修会参加を各小学校、各地区館を通じて市民に呼び掛けた。

##### ② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

令和4年度10月をもって、八幡浜市視聴覚ライブラリーの本体である総合福祉文化センターが取り壊しとなり、所有視聴覚教材・機器の廃棄または移管届を提出した。これにより、ライブラリー機能は、市民文化活動センターに移った。

現在、16ミリ映画フィルム167本、ビデオ教材718本、DVD教材61本を保有している。機器については、プロジェクターやスクリーンがある。

令和4年度は、DVD、ビデオテープの貸出しが20回あった。機器の貸出しは、プロジェクターが45回、スクリーンの貸出しが40回あった。

教材・備品の購入はなかった。

視聴覚機器は、アナログからデジタルへと移行している。デジタル化に対応した機器への更新が必要であると同時に、デジタルデータの蓄積を進めていく必要がある。

### 【事務事業点検評価委員意見】

- 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成について、「出前映画講座」は、コロナウイルス感染対策により利用が少なく、93人の視聴であった。来年度に期待したい。愛媛県メディア教育協会が実施している教育機器実技研修会、愛媛県メディア教育研究大会に参加し、指導者としての資質向上を図ったことは、素晴らしい。

- 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実については、市民文化活動センターを中心に、活用を続けてほしい。

視聴覚機器は、デジタル化に対応した機器への更新が必要であると同時に、デジタルデータの蓄積を進めていく必要がある。研修をしっかりとって、充実した環境を整えてほしい。

#### 【自己評価】

- 「出前映画」の利用が少なかったのは、新型コロナウイルスの流行中であるため仕方がないことだと考えている。今年度は、5月に2類から5類へ移行したので、各団体へ呼び掛け利用促進を図りたい。

また、担当者自ら技術向上を図るためにも研修会への参加は不可欠であるが、研修したことを他へ広めるまでに至らなかった。今後は、研修内容を広く市民に伝えるような機会をつくりたい。

- 視聴覚ライブラリー保有機器・機材の充実については予算が伴うことなので、八幡浜市立視聴覚ライブラリー運営委員会で検討し、必要なものは購入するなどの対策を進めたい。  
一方、デジタル化へのスムーズな移行ができるように、現在ある機器で代行し、デジタルデータの蓄積に努めたい。